



# 自衛隊長野地方協力本部

## 1 佐予備自衛官辞令書交付行事



辞令書交付式



記念撮影

自衛隊長野地方協力本部（本部長・山口敦史1等陸佐）は1月21日（水）、地本本部において予備自衛官2名に対し辞令書交付行事を実施した。

今回辞令書を交付されたのは古屋浩司予備1等陸佐、古越万紀人予備1等陸佐の2名で、長野地本では初めての1佐予備自衛官となる。

また、陸将補で退官後、階級を下げて1佐で予備自衛官に採用されたのは古屋予備1佐が全国で初めての例となる。

行事では本部長からそれぞれに辞令書を伝達後、宣誓、訓示、記念撮影及び制度説明を行い、そして、最後に本部長との会食を実施した。

二人に予備自衛官への志願理由を伺ったところ、古屋予備1佐は「防衛白書にて陸将補で退官しても階級を下げれば予備自衛官になれる制度を知り、現在の国事情勢を鑑み、予備自衛官の必要性を改めて考え志願しました」、古越予備1佐は「国防への使命感に再度心を動かされ志願しました」とのこと、退官してからもなお国防に対する強い想いがうかがわれた。

なお、古屋予備1佐と古越予備1佐は、防衛大学校に同時期に在籍した先輩後輩の間柄であり、卒業以来、顔を合わせるのとは今回が初めてということ、思い出話等会話も大いに弾んでいた。

長野地本は今後も予備自衛官と緊密に連携し、出頭しやすい環境の醸成及び訓練出頭への不安払拭に努めていく。

## 予備自衛官5日間訓練



申告



受賞者との会食



表彰式

自衛隊長野地方協力本部（本部長・山口敦史1等陸佐）は、1月23日から1月27日の5日間、松本駐屯地（第13普通科連隊重迫撃砲中隊が担任）で実施された、令和7年度第6回予備自衛官招集訓練において、予備自衛官の人事管理業務を実施した。

表彰式では、本部長から上限任期満了退職者2名に対し顕彰伝達、永年勤続30年以上（防衛大臣表彰）1名、同10年以上（東部方面総監表彰）1名、同5年以上（本部長表彰）2名に対し表彰伝達するとともに、長年の予備自衛官としての勤務を労った。

また、隊員自主募集表彰で長野地本としては初の予備自衛官への5級賞詞（単年1名入隊）1名を表彰した。

本部長の訓示において、国防に携わる予備自衛官の重要性を示すとともに、処遇改善等による、予備自衛官に対する期待の高まりにふれ、士気の高揚を図った。

予備自衛官から「予備自衛官としての期待値が上がる中、一員としてやらなければならぬ」という気持ちを感じた」との声が寄せられた。

長野地本は、今後も、5日間訓練において表彰等を実施するとともに、訓練招集部隊と連携を図り、訓練出頭を魅力化していく。



記念撮影